

# 災害時のトイレ対策

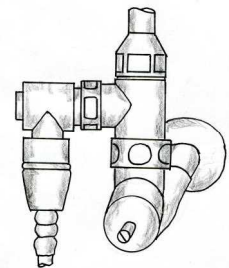
- 大規模な地震災害が起きた場合、下水道の埋設管が破損することが予想されます。
- 点検が終了するまでは、下水道に一切の水を流すことが出来なくなります。
- トイレも下水道に流すことが出来なくなります。
  
- 家屋が倒壊しない場合は、普段使用している便器が壊れるというケースはあまりありません。
- 家屋が倒壊した場合は、避難所に避難することになり、ダンボールやペール缶でトイレを作ることは無いと考えられます。
- 災害時のトイレ対策は、家庭用のトイレを使用して「排泄」することになります。
- 家庭用トイレの使用手順

## 1 通常のトイレです。



## 2 止水栓を閉めて水の流れるのを防ぎます。

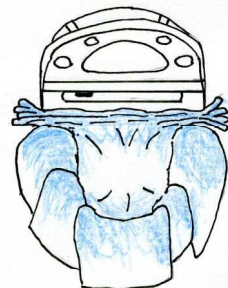
- 誤って水を流さないようにタンクへ水を入れる管の止水栓をドライバーで閉めます。
- タンクの中の水を別の容器に汲み出します。貴重なきれいな水です。



↑ ここ

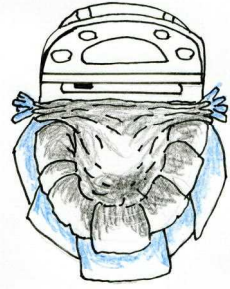
## 3 ふた、便座を上げて、ビニールの袋で便器を覆います。

- 便器の中の水を汲み出します。
  - ▼ この水は汚れていますので、裂いた新聞紙等に吸わせ、ゴミ袋に入れて保存します。
- 70リットルのゴミ袋で、便器全体を覆います。
  - ▼ 便器が汚れた時に対応するためです。
  - ▼ 万一、便器が汚れてしまったら、ビニール袋を外して、新しいビニール袋で覆い直してください。便器を洗う水がありませんので、このようにします。



#### 4 便壺の部分を少し小さいビニール袋で覆います。

- 便壺の部分にかけて、便座でずれないようにガムテープで固定します。
- このビニール袋の中に「排泄」します。尿もそのまま袋の中にしてください。



#### 5 便座を下げて排泄します。

- 排泄が終わったら尿を吸わせるために、市販の凝固剤や「介護用の尿パット」や「おむつ」があれば、ビニール袋の中に入れてください。
- 無い場合は、裂いた新聞紙をビニール袋の中に入れて、吸わせてください。
- 市販の防臭剤や消臭剤があれば吹きかけてください。
  - ▼ それも無い場合は、粉状の衣類の洗剤を振りかけてください。
  - ▼ 衣類の洗剤にも消臭効果があります。



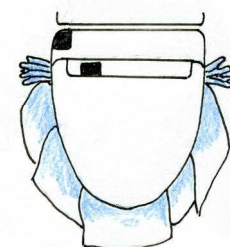
#### 6 便座をあげて袋の口を縛ります。

- 排泄が終わり、防臭作業も終わったら、ビニール袋の口を軽く縛ります。
- 家族ですので、同じ袋の中に次の人が用を足すようにしてください。
  - ▼ このようにして、排泄物の袋の数を少なくするように努力してください。



#### 7 便器のふたを閉めます。

- 手を洗う水もありませんので、平時から手指を消毒するジェルや消毒液を備えておいてください。
- 手指が汚染されて感染症になると大変です。
  - ▼ 災害時には、体力気力が落ちていきますので、十分に注意してください。



- 万が一、家屋が倒壊し、自家用車で避難生活するとき
- 万が一、家庭用トイレが破損したとき
- 家庭用トイレが使用出来ない状況時の手順はダンボールトイレを参照してください。
- このようにして各家庭で出る「排泄物」の袋は、普通のゴミ袋とは区別して保管してください。
- 絶対に混ぜないでください。

# ダンボール・トイレ

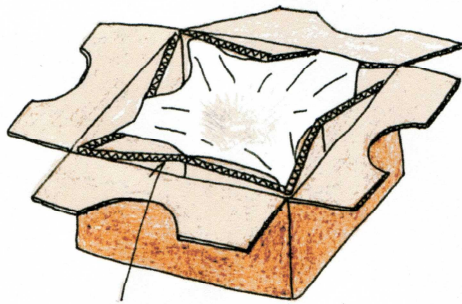
- トイレの故障時に役立ちます。
- 地震災害時に、家屋が倒壊し、自家用車等で避難生活を送る時に役立ちます。
- **ミカン箱を使ってトイレを作ります。**

## 1 用意するもの

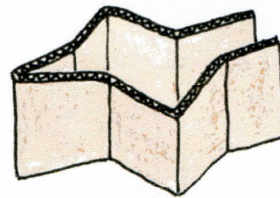
- ミカン箱（3箱）
- カッター
- ビニール袋
- ガムテープ

## 2 作る手順

- ミカン箱に楕円形に穴を開けます。穴が大きすぎると強度不足になります。
- ミカン箱の上下を切り取ったものを、穴を開けたミカン箱の中にはめ込みます。
- ミカン箱の中にビニール袋を広げて入れ、四方をガムテープで留めます。



補強用ダンボール



ミカン箱の上下を切り取ったものを  
はめ込む（補強用ダンボール）

大人が使用する時は、下にミカン箱を  
一つ置くと使い易い高さになります。

## 3 使用方法

- もう一枚ビニール袋を入れ、この中に排泄します。
- 凝固剤や防臭剤、消臭剤等につきましては、家庭用トイレの使い手順と同じです。
  - ▼ 大人用紙おむつは、Lサイズで4リットル、Mサイズで3リットルの水分を吸収することが可能です。
  - ▼ 大人の尿量は、1日当たり1.2～1.4リットルです。

